



主力商品 リプラギ®

- 本社所在地：大阪府貝塚市加神2丁目20番35号
- 事業概要：廃プラ回収事業、マテリアルリサイクル事業
- 常時使用する従業員：69名（2024年9月期）
- 現在の売上高：31億円（2024年9月期）
- 法人番号：4120101038618
- Web：https://www.eco-kawase.co.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
川瀬幸久

リサイクルを化学する

川瀬産業は創業以来50年以上にわたり、環境保全活動を経営理念とし、産業用プラスチックのマテリアルリサイクルを主とした事業を展開しております。産業廃棄物の中でも特に処理が難しいとされる薬剤汚染プラスチックを独自の洗浄・排水処理技術を用いて無害化し、ペレット化することで、新たな資源として再生利用可能な状態へと再生するなど、循環型社会のエンジンとして、化学の視点からリサイクルを推進し続けることで、森林資源の保護や廃プラスチック問題の解決に寄与し、持続可能な社会の実現を目指します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

国内・国外ともに、環境意識の高まりなどを背景に、リサイクル材需要が拡大し、企業の再生プラスチック採用促進も市場成長を後押し。資源循環型社会の要請に応え、国内産業系廃プラスチックリサイクル市場における競争力を飛躍的に高めて、2035年度の売上高100億円達成に向け、生産能力増強および製品ラインナップ拡充・市場拡大をはかり、グローバル展開も含めて10年間で年平均成長率12.6%程度の成長を目指す。

課題

1. 生産能力の不足（現状では、拡大する市場に対する供給力が不足）
2. 技術開発力・品質管理体制の強化（コンパウンド事業への取り組みや水平リサイクル推進に向けた対応が必要）
3. 営業エリア・資源循環型販路の拡大（他エリア、他業界の開拓）
4. 海外需要への対応力の不足（特に東南アジア地域）
5. 資金調達・キャッシュフロー管理の強化（工場新設・設備投資・M&Aなどに向けて、数十億円規模の資金が必要）

売上高100億円実現に向けた具体的措置

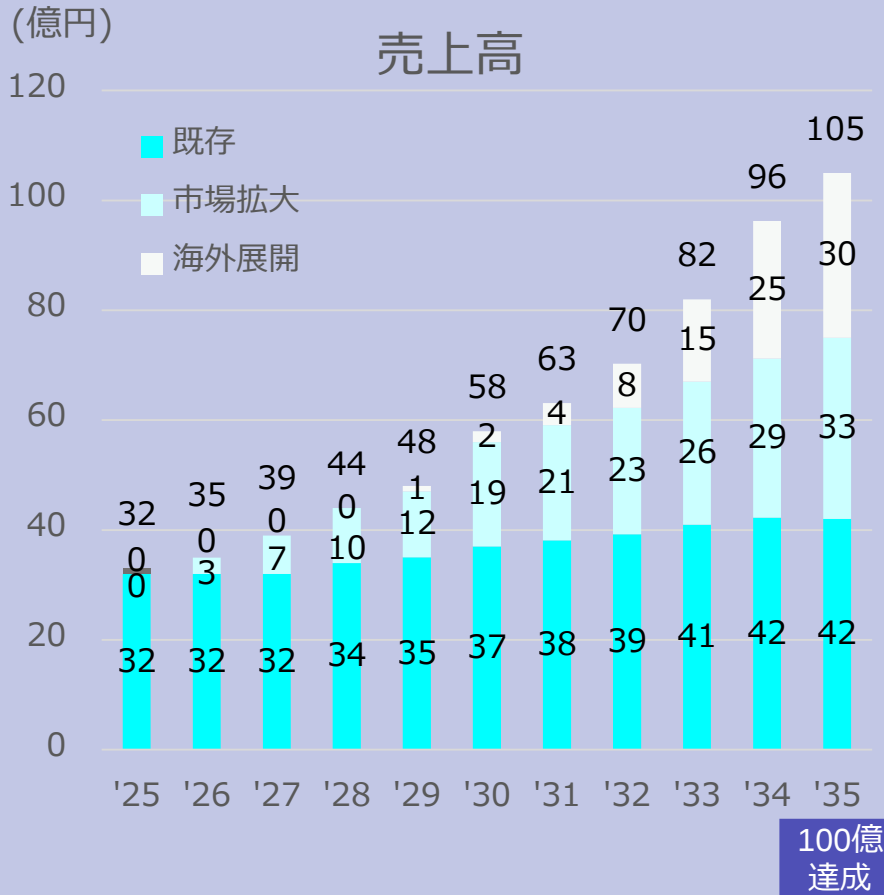
目指す成長手段

1. 生産能力拡大（北九州・名張への新工場建設と拡張により、生産能力とBCP対応力を強化し、CO₂排出削減にも貢献）
2. 高付加価値化（「リプラギ®」の用途拡大、コンパウンドへの取組で、高機能・高意匠な再生製品を展開し価値創造を推進）
3. 販路拡大（西日本での市場拡大および関西・中部での需要獲得、建材・土木など他分野への販売チャネルの拡充）
4. グローバル展開（大手商社と連携し、現地需要に応じた製品開発を進めつつ、海外市場向けの事業基盤を整備）
5. 資金調達やガバナンス強化を目的とし、中長期的に上場へ挑戦

実施体制

1. 役員・工場長主導で新工場の計画を推進しつつ、経理が支援
2. 製造本部主導でテーマ別チームを編成、総務が人員配置を支援
3. 営業部門を「既存営業グループ」「インサイドセールス営業グループ」「新規開拓グループ」の3本立てに編成し、営業人員もまずは2030年まで段階的に増員（目安：現状の2倍程度）
4. 海外事業本部の新設。（海外販路ネットワークを持つ大手商社とのアライアンス強化、現地需要に合わせた製品開発、など）
5. 経営企画部門の新設（年間の進捗モニタリング、必要に応じたM&A（工場や専門商社の買収など）、上場、などへの取組）

売上高100億円実現の目標と背景および施策



<背景>

[業界環境の変化と成長機会]

- ・脱炭素やサステナビリティへの関心が世界的に高まり、リサイクル需要が増加し、ビジネスチャンスが拡大している

[企業としての社会的使命感]

- ・廃棄物削減や循環型社会の実現を通じて「社会課題をビジネスで解決する」

[競争力強化と持続的成長]

- ・規模の経済を活かし、処理コストや物流コストの削減を進めることで、より高効率なリサイクル体制を構築する

[人材確保・組織基盤強化]

- ・100億円規模の企業に成長することで給与・待遇・キャリアパスなどの制度も拡充し、社員満足度と定着率を高める

[地域貢献・インフラとしての機能拡大]

- ・地方創生や雇用創出に貢献するため、一定以上の事業規模が求められる

<施策>

[生産能力拡大]

- ・2026年：福岡県北九州市に新工場建設

- 国内再生プラスチック市場拡大対応、長距離輸送に伴うコスト・環境負荷の軽減（CO₂排出削減）

- ・2028年：三重県名張市に新工場建設および本社機能移転

- 事業継続力（BCP）強化、中部・関西エリアでの供給体制の安定化

- ・2030年/2033年：名張工場の拡張（コンパウンドライン追加・プレスライン追加）

- 高付加価値リサイクル・循環型水平リサイクルに向けた技術力向上、リサイクル製品生産能力拡大

[高付加価値化]

- ・産業廃棄物の中でも特に処理が難しいとされる薬剤汚染プラスチックを独自の洗浄・排水処理技術を保有

- ・環境意識の高まりを捉えた「高付加価値リサイクル」の推進および循環型の水平リサイクルの実現

- ・「リブラギ®」の用途開発の加速（既存の木材代替用途に加え、建材資材、土木資材、など）、機能性だけでなく意匠性にも優れた製品を開発により、エンドユーザーへの訴求力を高め、新たな価値を創造

- 当社は、主に木材代替品として、木材の使用削減森林保護など地球環境に貢献するため、プラスチック(PE・PP)リサイクル原料を100%使用したマテリアルリサイクル製品「リブラギ®」を開発・販売

[販路拡大]

- ・西日本エリアでのマーケット拡大および中部・関西エリアでの需要獲得

- ・耐久性、耐水性、メンテナンス性といった「リブラギ®」の特性を活かせる分野への展開強化

[海外展開]

- ・海外市場への展開を視野に入れた事業基盤の整備

- 業界ごとの海外販路ネットワークを構築している大手商社とのアライアンス強化、海外現地需要に合わせた製品開発

[上場]

- ・上場による、成長資金の調達・信用力/認知度の向上・経営の透明性強化・人材採用/定着の強化